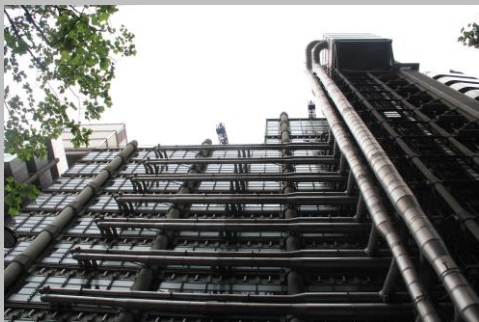


10.ロイズ・オブ・ロンドン



世界最大の組織であるロイズ保険組合の本社ビルがこのロイズ・オブ・ロンドンだ。

レゾンホールマーケットを歩いていると、圧倒的存在感あるロイズ・オブ・ロンドンがみえてくる。

設計はリチャードロジャースが手掛けており、建物はハイテク建築となっている。

シティの開発が進み周囲には競合テナントビルが増え始めたころ、ある種の危機感を覚え「内部空間を明るくするため自然光をもっと取り込みたい。」をテーマに改修工事をおこなっている。

当初、ハイテク建築と聞き構造や設備を露出させた建物と簡単に思っていたが、ロイズ・オブ・ロンドンのステンレスの反射や、規則性がありそうな配管、ガラス張りのエレベーター、几帳面に並ぶトラスの斜材を目の当たりにし衝撃が走った。

改修の時のテーマにあった「内部空間をもっと明るくするために自然光をもっと取り込みたい」のテーマに沿って、スパークリング・ガラスが使用されていた。テナントビルの為建物内を視察出来なかったのが惜しかったが、インパクトあるそれは外から見るだけでも十分な満足感があった。

成木 俊介